

保田紙の製造（作業工程）

体験交流工房 わらし



① 楮刈り (収穫)

楮は、1年で成長します。
落葉後、1月に幹を刈り取ります。



② 楮炊き

楮を揃(そろ)え束(たば)にして、釜に入れ
2時間あまり炊きます。



③ 楮剥き

炊きあがった楮は、冷めないうちに皮を
剥きます。



④ 楮踏み

剥いた楮の皮を踏み、シブ皮(表皮)を
落とします。



⑤ 水洗い

水につけ、シブ皮を洗い落とします。



⑥ なまそさくり (楮さくり)

シブ皮を取った後、その下のアマ皮を
さくり包丁で削り取ります。



⑦ 寒晒し (天日乾燥)

白皮を寒風に晒(さら)して乾燥(かんそう)
させます。これをさくりといいます。



⑧ 釜炊き

乾燥したさくり15kgを水で戻し、釜で煮
てやわらかくします。



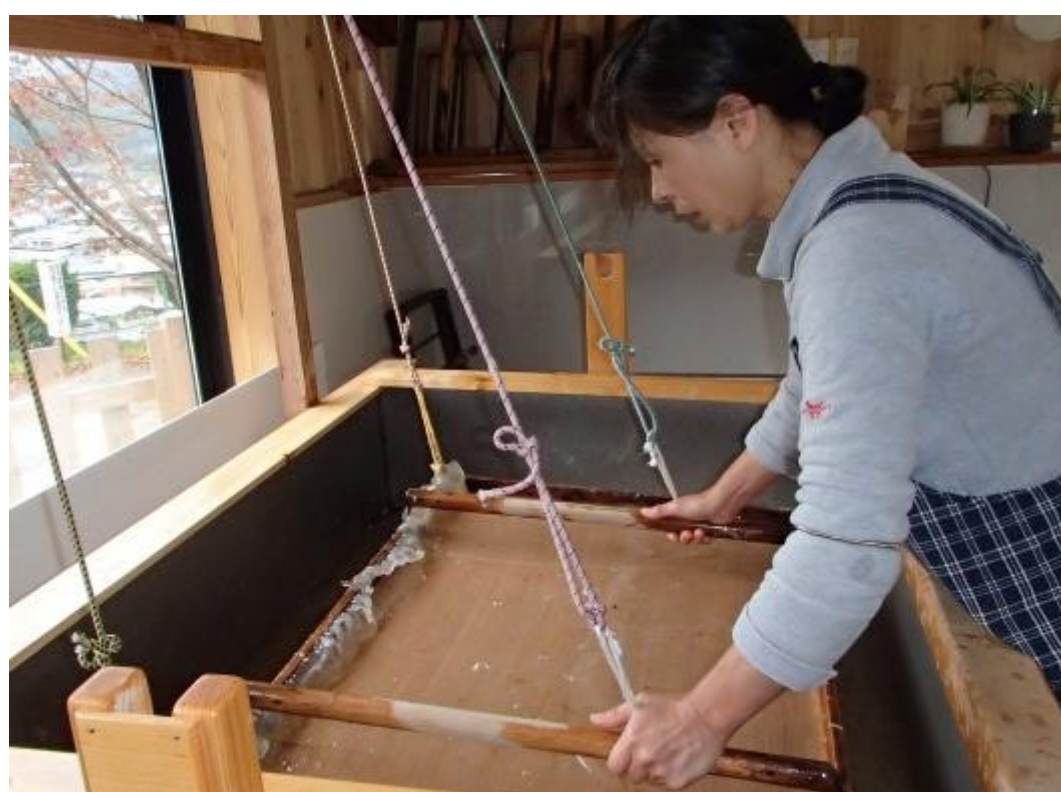
⑨ 塵より

水分をとったあと、塵(こまかいごみ)を
一つ一つ手作業で取り除きます。



⑩ 叩解

塵よりしたものを叩解機(こうかいき)に入れ、
繊維を砕きます。砕いたものを紙素(かみす)といいます。



⑪ 紙漉き

水を張った漉き舟に原料の紙素と糊の役
目のトコロアオイを入れ、専用の箕(す)
で紙を漉き上げます。



⑫ 圧搾

漉き上げた紙の束に、圧力(あつりょく)
をかけて、水分をしぼり取ります。



⑬ 紙板貼り

紙板に一枚一枚紙を貼りつけます。



⑭ 紙干し

紙板に貼った和紙を天日(てんび)
で乾燥(かんそう)させます。



⑮ 紙選り

干し上がった紙を一枚ずつ検査し、
選別(せんべつ)します。